

福岡大学経済学部創立 50 周年記念
福岡大学都市空間情報行動研究所設立 10 周年記念公開シンポジウム

九州観光の未来を考える
アジアの観光客動向から九州新幹線開業の効果まで

主催：福岡大学都市空間情報行動研究所

日時：平成 21 年 9 月 11 日（金） 13:30 - 17:05

場所：アクロス福岡・国際会議場（福岡市中央区天神 1-1-1 アクロス福岡 4 階）

共催：毎日新聞社

後援：国土交通省九州運輸局、経済産業省九州経済産業局、福岡県、福岡市、九州経済連合会、九州観光推進機構、福岡商工会議所、駐福岡大韓民国総領事館、韓国観光公社、日本不動産学会、RKB 毎日放送

協賛（予定）：九州電力、JR九州、西日本鉄道、九電工、ゼンリン、JTB九州他

<開催主旨>

九州は国際観光によって大きく変わろうとしています。21 世紀は国際観光の時代といわれていますが、アジアの観光客が世界にどっと繰り出してきたとき、どのようにして九州に来てもらうか、大きな課題です。そのためには九州の魅力のアジアの人々に伝えていくことが大切です。九州は、2011 年に九州新幹線が全線開業し、移動時間の短縮によって、限られた時間内に、より多くの九州の観光地を回遊できることになり、大きく魅力がアップします。韓国でもソウル・釜山間に高速鉄道が開業し、韓国と九州が一体となって世界から観光客を呼び込み、両国間を回遊してもらうことも可能となってきました。これからの地域づくり、まちづくりは、アジアの国際観光の動きの中で考えていかなければなりません。

福岡大学都市空間情報行動研究所は、福岡市天神地区を中心に消費者回遊行動調査を継続的に実施するとともに、アジアの巨大都市（中国・北京、上海、釜山、台北、ベトナム・ハノイ、ホーチミン）における消費者行動調査を実施してきました。加えて、海外（釜山）からの観光客の行動についても調査を行い、渡航需要関数の推定法など、消費者や観光客の行動の観点からまちづくりに貢献できる研究を行ってきました。

本年は、福岡大学都市空間情報行動研究所の設立 10 周年にあたります。また、福岡大学経済学部創立 50 周年の年でもあります。これらを記念し、私たちの研究成果を市民の方々に知っていただくとともに、観光によるまちづくり体制の構築を目指して本シンポジウムを開催いたします。

<主な内容>

本保芳明観光庁長官の基調講演の後、韓国人観光客の詳細な動向調査と最新の研究成果をもとに、アジアと相互に開かれた九州観光の現状と課題、未来をともに考えるパネルディスカッションを行います。

<プログラム>

13:30 ~ 13:35	開会挨拶	衛藤卓也	福岡大学長
13:35 ~ 13:40	来賓挨拶	田中浩二	九州観光推進機構会長
13:40 ~ 14:20	第 1 部 基調講演	本保芳明	観光庁長官 「観光立国の実現を目指して - 観光王国九州の復権へのヒント - 」
14:30 ~ 14:35	来賓挨拶	麻生 渡	福岡県知事
14:35 ~ 17:05	第 2 部 研究成果報告およびパネルディスカッション		
14:35 ~ 15:05	研究成果報告（外国人観光客行動調査結果、渡航需要関数の推定）		
15:05 ~ 17:00	パネルディスカッション「九州観光の未来を考える」		
	コーディネーター：	野沢俊司	（毎日新聞社経済部長）
		パネリスト：	本保芳明（観光庁長官）
			石原 進（JR九州代表取締役会長）
			金 奉起（韓国観光公社副社長）
			桑野和泉（株式会社玉の湯代表取締役社長）
			齋藤参郎（福岡大学都市空間情報行動研究所長）
			（順不同・敬称略）
17:00 ~ 17:05	閉会挨拶		
17:30 ~	レセプション	西鉄グランドホテル（鳳凰の間）	
	会場受付開始	17:00 ~	

問い合わせ先

福岡大学都市空間情報行動研究所

Tel：092(874)6827 Fax：092(874)6830

担当：新井、山城